

ワイヤレスリモコン	(高さ) 177 × (幅) 61 × (奥行) 20 mm
受信部	(縦) 188 × (横) 188 × (奥行) 32 mm
電源	DC 16 V (室内ユニットのリモコン端子板より供給)
付属品	取扱説明書、取付説明書 リモコン取付具、ネジ

ワイヤレスリモコンキット

取扱説明書

形名 RBC-AX22U

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところにエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。

組み合わせ

形 名 (総称)	ワイヤレスリモコン + 受信部
RBC-AX22U	WH-G1J (ワイヤレスリモコン形名)

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼される時便利です。

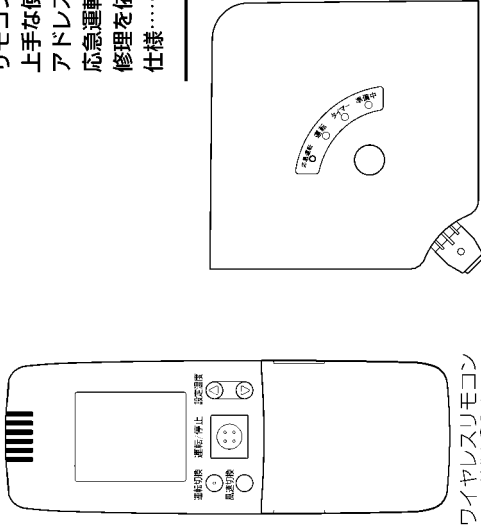
品 番	年 月 日	年 月 日
お買いあげ販売店名	電話番号 ()	

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	
リモコン	3
受信部	4
運転のしかた	
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風	5
タイマー運転のしかた	6
風向調節のしかた	7
昇降グリルの操作方法	8
スライドスイッチについて	9
乾電池の入れかた	9
リモコンの取り扱いかた	10
上手な使いかた	10
アドレスについて	11
応急運転のしかた	12
修理を依頼される前に	13
仕様	15



この取扱説明書は再生紙を使用しています。





上手に使うって上手に節電

安全上のご注意

安全上のご注意



で使用前の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。





●表示と意味は次のようになっています。

	警告	取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
	注意	取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合
●図記号の意味		
	「警告」や「注意」を促す事項を表します。	 必ず実行してほしい行為を表します。




●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。



据え付け上の注意事項

⚠ 警告	
ご自分で据え付けはしない	エアコンは当社指定の物を
 据え付けは販売店に依頼してください。	 必ず、当社指定のエアコンを使用してください。 また、取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で据え付けをされ、不備がある場合、感電や火災、水漏れ等の原因になります。



⚠ 注意	
湿気・油分や振動の多いところには設置しない	直射日光のあたるところや熱源の近くには設置しない
 故障の原因になります。	 故障の原因になります。
ノイズの発生するところには設置しない	
  誤動作の原因になります。 電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。 詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。	

使用上の注意事項

⚠ 警告	
ぬれた手でスイッチを操作しない	制御装置をぬらさない
 感電や故障の原因になります。	 制御装置をぬらさないようにご注意ください。 感電や火災、故障等の原因になります。
異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して手元電源スイッチを切る	
 異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。 お買いあげの販売店にご相談ください。	
手元電源スイッチを切る	

⚠ 注意	
製品を落したり、強い衝撃を与えない	正しい容量のヒューズ以外は使用しない
 故障の原因になります。	 針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

移設・修理時の注意事項

⚠ 警告	
改修はしない	移動再設置は、販売店に相談する
 改修は絶対にしないでください。 また、修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。 修理に不備があると感電や火災等の原因になります。	 制御装置を移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者にご相談ください。 販売店に相談する。 据え付けに不備があると感電や火災等の原因になります。

各部のなまえとはたらき

リモコン ●1台のリモコンで室内ユニット最大8台までグループ制御できます。

(WH-G1J) (㊦7ページ)

運転/停止ボタン

押すと運転、もう一度押すと停止します。

運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

風速切換ボタン

タイマー設定時に使用します。

(㊦6ページ)

フィルターボタン

別売の昇降グリル(オートグリル)付天井パネルを接続したときに使用します。

(㊦8ページ)

リセットボタン

電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使

用します。(㊦8ページ)

スライドスイッチ

(㊦9ページ)

乾電池収納部

(㊦9ページ)

カバー

両サイドを持って下にスライドします。

送信部

リモコンセンサー

センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感じます。

運転表示部

運転状態を表示します。(図は全部を表示した状態です。)

●オートフラップ表示は設置ユニットによって異なります。(㊦7ページ)

設定温度ボタン

④ 設定温度を1℃ずつ上げます。
⑦ 設定温度を1℃ずつ下げます。

スイング/風向ボタン

(㊦7ページ)

アドレスボタン

(㊦11ページ)

換気ボタン

市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。(換気扇が運転中はリモコンの表示部に「換気」が表示されます。)
※電池交換をしたときは換気ボタンを4秒以上押し続けると「換気」と表示され使用できるようになります。

センサーボタン

リモコン側の温度センサーにるときに使用します。出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に「室温センサー」が表示されます。

各部のなまえとはたらき

●受信部は室内ユニット本体に取り付けてあります。

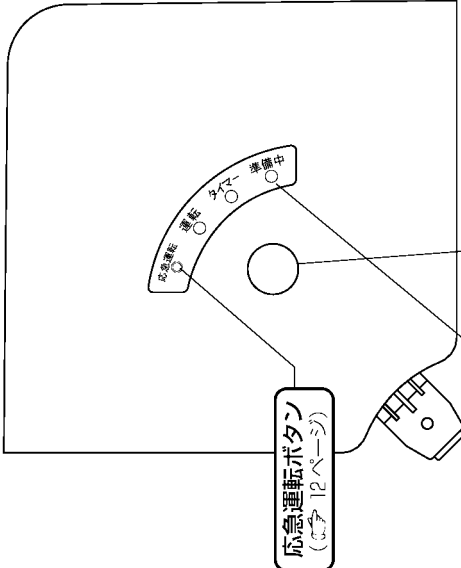
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。

受信部

例：運転/停止ボタン→運転/停止

以下のスイッチは受信部の裏側にあります。設定はお買い上げの販売店にご相談ください。

リモコン・親/リモコン・子、スイッチ
通常「リモコン・親」でご使用ください。 ワイヤードリモコン(別売品)との併用も可能です。
試運転・入スイッチ
サービスタ時に使用します。通常は使用しません。
アドレススイッチ (㊦11ページ)
送信、受信の信号を区別します。



応急運転ボタン
(㊦12ページ)

表示ランプ

異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときは「修理を依頼される前に」の頁(13ページ)をご覧ください。

受信部

リモコンから送信された信号を受信します。

運転ランプ

運転中は点灯します。

タイマーランプ

タイマー予約中は点灯します。

準備中ランプ

●暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはいたとき、霜取運転中。
●異常発生中は点滅します。

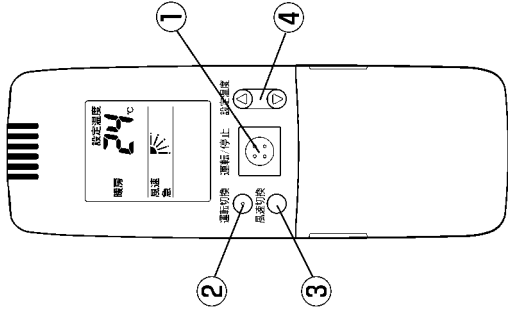
●ヒートポンプ形をお使いの場合「ピッ・ピー」という音が生じ、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
(冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作)

●集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転/停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、「ピッ」という音が5回して、変更を受け付けません。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

- 冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。



電源

① 手元電源スイッチを運転開始の12時間以上前に入れたください。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコン操作を受けつけませんが、故障ではありません。(一旦受信はしますが、受信内容が解除されます。)

② **運転/停止** を押します。

③ **運転切換** を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

④ **風速切換** を押して、お好みの風速にします。
(送風時は自動的に切り換わります。)

⑤ **設定温度** のいずれかを押し、お好みの温度にします。
お好み温度
冷房 26~28℃
暖房 22~24℃
ドライ 室温より2~3℃低め
※送風時は温度設定ができません。

停止

運転/停止 を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

- 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
お使いの室内ユニットによっては表示はされませんが機能がありません。(風速は一定です。)
- 通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

冷暖自動について

同一冷暖系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっているとき、設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的にを行います。

ドライ運転について

- お使いの室内ユニットによっては、リモコンの表示部にドライが表示されてもドライ機能はありません。(冷房運転と同一)
- 室温が設定温度近くになると自動的に運転、停止を繰り返します。
- できるだけ湿気を再びお部屋に戻さないため、運転が停止すると室内ファンは微風運転となります。
- お使いの室内ユニットによっては、または室温の状態によっては風速調節はできません。
- お使いのユニットによっては外気温度15℃以下のときは、ドライ運転はできません。

タイマー運転のしかた

- タイマー設定後リモコンは受信部(室内ユニット本体)に信号が届く位置に置いてください。(タイマー運転の信号はリモコンから送ります。)
- 運転表示中にタイマー設定を行ってください。

〈使用例〉

こんな時にお使いください 表示中

あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	くり
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

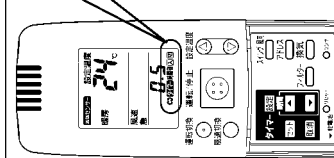
タイマー時間について

を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつふやします。
上限は72.0時間です。
 を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)ずつへらします。
下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー を押すごとに次のように切り換えます。

表示なし
切 → くり → 入



切タイマー運転のしかた

(例) 30分後に運転を停止させたいとき

- ① タイマー を1回押すとリモコンに「切」と時間が点滅します。
- ② 時間 を押して時間を0.5に合わせます。
 を押します。
- ③ と時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

(例) 毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

- ① タイマー を2回押すとリモコンに「くり」切」と時間が点滅します。
- ② 時間 を押して時間を2.5に合わせます。
 を押します。
- ③ 切」と時間が点灯します。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び「運転/停止」を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

(例) 8時間後に運転をさせたいとき

- ① タイマー を3回押すとリモコンに「入」と時間が点滅します。
- ② 時間 を押して時間を8.0に合わせます。
- ③ を押します。
運転表示が消えて「入」と時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

- を押します。タイマー表示が消えます。

風向調節のしかた

- リモコンで操作するフラップ(上下風向調節板)はフラップ洗浄時以外は絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップ(上下風向調節板)が自動的に下向きになります。
- 暖房準備時にはフラップ(上下風向調節板)が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンのオートフラップ表示は暖房準備中でもスイング表示します。

風向きを設定するときは

運転中、**スイング/風向**を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは

スイング/風向を押し、フラップ(上下風向調節板)の向きを1番下に設定し、もう1度**スイング/風向**を押すことによりスイングが表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

スイングを止めるときは

フラップのスイング中にもう1度**スイング/風向**を押すことにより、フラップをお好みの位置で止めることができます。その後**スイング/風向**を押すと再び風向きを1番上から設定できます。

※冷房・ドライ時にはフラップは下向きでは止まりません。スイング中にフラップ下向き状態で止めても、上から3番目の位置まで動いてから止まります。

暖房時

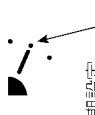
フラップ(上下風向調節板)は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。



初期設定

冷房・ドライ時

フラップ(上下風向調節板)は上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。



初期設定

送風時



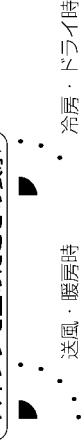
初期設定

すべての運転時



連続動作

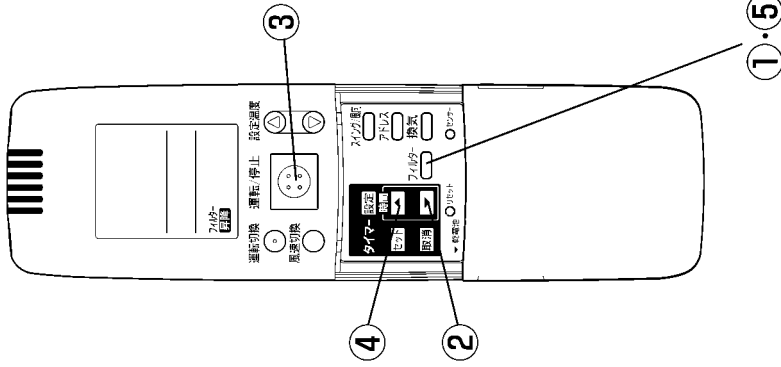
スイングを止めたときの表示



昇降グリルの操作方法

(別売の昇降グリル付き天井パネル(オートグリル(ネル))を接続してある場合)

- 1** **フィルター** を4秒以上押し続ける
とリモコンの表示部に **フィルター** が点灯
します。(室内ユニットの運転は停止
します。)
- 2** **下降** を押すと昇降グリルはゆ
っくりと降りてきます。障害物に当
つたとき、昇降グリルは停止しま
す。
- 3** **運転/停止** を押すと昇降グリルの
下降、上昇が停止します。停止を押
さないで下げていくと、自動的に停
止します。
※下降中または上昇中に他の操作を
行うときは必ず、一度停止をして
から行ってください。
- 4** **上昇** を押すと昇降グリルは上
昇します。昇降グリルが天井パネル
に、きちんと収まると数秒後にモ
ーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認し
てください。
- 5** **フィルター** を4秒以上押し続ける
と表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に **フィルター**
を押すと昇降グリルは停止して、
リモコンの表示が消えます。
再度、昇降グリルを動かしたいと
きは、①に戻ってください。

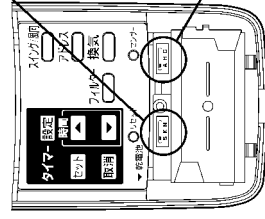


- リモコンの送信部は操作を行いたい昇
降グリル付き天井パネル(オートグリ
ルパネル)の受信部に向けてください。
(到達距離 3 ~ 4m)
- ワイヤレスリモコンの受信部に向けて操作しても受けつけません。
- 昇降グリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが
下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。
- 昇降グリル付き天井パネル(オートグリルパネル)についての詳しい説明は、昇降グリル
付き天井パネル(オートグリルパネル)に付属されている取扱説明書をご覧ください。

スライドスイッチについて

- お使いの室内ユニットによって運転表示と風向表示の設定が下記のように異なります。
- スイッチは先の細いもので切り換えてください。
- スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。

	本機種
スライドスイッチの位置	SKN
リモコンのフラッシュ表示	風速 風向



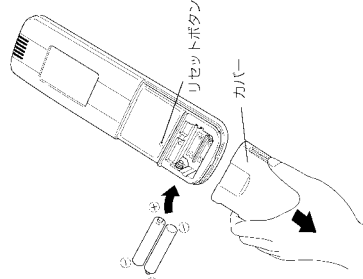
電池カバーを外したところ

	ヒートポンプ (冷暖自動あり)	ヒートポンプ (冷暖自動なし)	冷房専用
リモコンの運転モード表示	冷暖自動 暖房 送風 冷房 送風	暖房 送風 冷房 送風	ドライ 冷房 送風
スライドスイッチの位置	AHC	AHC	AHC

- ご使用になる前にスライドスイッチが上図の位置になっていることを確認してください。
- スライドスイッチの合わせかたについて詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

乾電池の入れかた

- ①カバーの両側を持ち、下にずらしはさずします。
- ②単4形アルカリ乾電池を2本入れます。⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
- ③先の細いもので「リセット」を押してからカバーを取り付けます。
- リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。(アルカリ乾電池の交換は約1年が目です。)
- 乾電池の取り換えは2本とも新しい同種のものをお使いください。
- リモコンを長時間で使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。

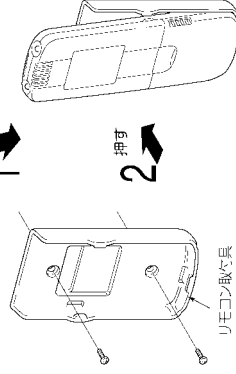


リモコンの取り扱いかた

- リモコンの送信部は、受信部(室内ユニット本体)に向けてください。正常に受信されると「ピッ」と1回音がします。(運転開始時のみ「ピッピッ」と2回音がします。)
- 受信できる距離は、約7mです。この距離は目やずです。乾電池の容量等により、若干前後します。(昇降グリル動作の受信でさえる距離は3～4mです)
- 受信部(室内ユニット本体)との間に信号をさえるものがないようにしてください。
- 直射日光やエアコン本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
- 落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
- 電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)、またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けられない場合があります。詳しくはお買いあげの販売店にご連絡ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合

- 壁に取り付けける位置で「運転/停止」を押し、正常に受信されることをご確認ください。
- リモコンを取り出す場合は手前に引いてはさずします。



上手な使いかた

- リモコンと受信部(室内ユニット本体)は離れすぎない誤動作の原因になります。リモコンと受信部(室内ユニット本体)は必ず同じ部屋に置いてください。
- リモコン操作は受信部(室内ユニット本体)に向ける正常に受信すると「ピッ」と音がします。
- カーテン等でリモコンがおおわれるところは避ける取り出しておいてください。

アドレスについて

同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。

受信部のアドレススイッチとリモコンのアドレスの数字を合わせることにより6台までの室内ユニットをおのおのに対応するリモコンで個別に制御することができます。

受信部(パネル又は室内ユニット内部)には受信用、リモコンには送信用のアドレススイッチがあります。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

アドレスの確認方法

リモコンの **「アドレス」** を押すと、リモコンの表示部に現在のアドレスを表示します。このアドレスが受信部(パネル又は室内ユニット内部)のアドレスと一致していればブザーが鳴ります。(ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります。)

ALLになっていれば、受信部(パネル又は室内ユニット内部)のアドレスに開わずに操作できます。操作したい受信部(パネル又は室内ユニット内部)にリモコンを向けて送信してください。

アドレスの合わせかた

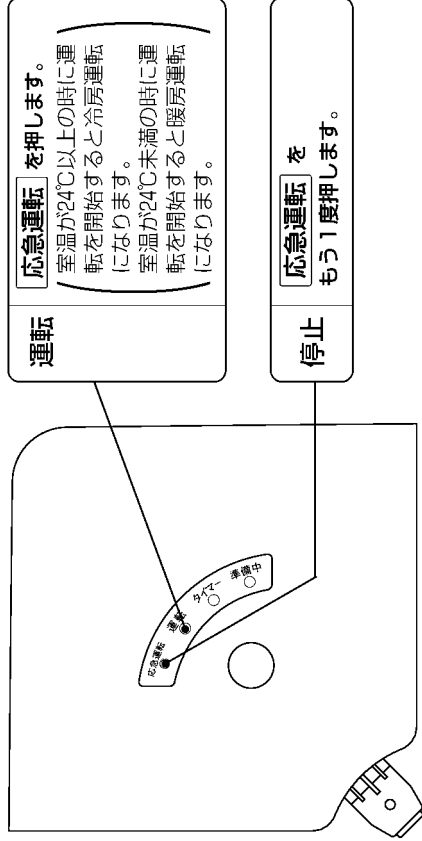
リモコンのアドレス設定

- ① **「アドレス」** を4秒以上押し続けると、リモコン表示部に「アドレス」が点灯し、現在のアドレスが点滅表示されます。
- ② **「アドレス」** を押すごとにALL→1→2→3→…→6→ALLと切り換わります。操作したい室内ユニットの受信部アドレススイッチに合わせてください。
- ③ **「セット」** を押すと、アドレス表示が点灯に変わり、5秒間アドレスを表示します。受信部のアドレススイッチと一致していればブザーがなります。

応急運転のしかた

次のようなとき、受信部(パネル又は室内ユニット内部)の **「応急運転」** を使って応急的に運転してください。

- リモコンの乾電池の容量がなくなった。
- リモコンが故障した。
- リモコンを紛失した。

















で注意

- 試運転・入スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。

リモコンの アドレス表示 (リモコンの 「アドレス」の位 置については C3ページ)						
受信部(パネル 又は室内ユニッ ト内部)のアド レススイッチ の位置	※受信部のアド レススイッチ はどこでもよ い					
		● S001はアドレスが1、2、3のときは右側に、4、5、6のときは左側にしてください。				
		● S002はアドレスが1、4のときは右側に、2、5のときは中央に、3、6のときは左側にしてください。				

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを入れた後も運転しない	停止中？または停電後？ 手元電源スイッチは？ ヒューズは？ 入タイマー運転になっていませんか？ リモコンの乾電池が消耗していませんか？ 表示ランプが冷暖不一致または冷暖自動なしの状態になっていませんか？	再度、リモコンの「運転/停止」を押す。 切れていたら入れる。 切れていたら買いあげの販売店にご連絡ください。 タイマー運転を取り消す。 乾電池を交換する。 運転モードを変更してください。 リモコンのスライドスイッチの設定を変更してください。(p.9 ページ)
冷房専用形なのに、表示部に冷暖自動または暖房が表示される。		
症 状	原 因	処 置
〈表示ランプが点滅する〉		
運転 	タイマー 	● 受信部と室内ユニットとの通信異常です。または、ワイヤードリモコン使用時のアドレス設定異常です。
運転 	タイマー 	● 室内ユニットと室外機との通信異常です。
運転 	タイマー 	● 室内ユニットの保護装置が動作しています。
運転 	タイマー 	● 室外機の保護装置が動作しています。
運転 	タイマー 	● 温度センサーが異常です。
運転 	タイマー 	● 室外機の圧縮機を保護しています。
運転 	タイマー 	● 試運転中です。試運転スイッチをOFFにしてください。
お買い上げの販売店にご連絡ください		

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから手元電源スイッチを切り、お買いあげの販売店に形名と症状をご連絡ください。なおご自分で修理は、危険です。から絶対にしないでください。また、表示ランプが点滅したときは、その内容もご連絡ください。